

メールにしかか

「一人ひとりを大切に、違いは宝物」元気で笑顔あふれる学校

NO.12

豊中市立西丘小学校「学校だより」 令和2年（2020年）10月22日発行

「メールにしかか」のカラー版は、ホームページをご覧ください。http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nisioka/

本年度の卒業式は、令和4年（2022年）3月18日（金）

大変連絡が遅くなり申し訳ありません。教育委員会より正式に日程決定の連絡がありました。本年度の卒業式についても新型コロナウイルス感染予防対策として、時間を1時間半程度に短縮した形で、参列は卒業生、教職員、保護者のみとさせていただきます。在校生（5年生）の参加はしない方向で考えています。参列については各家庭、保護者の方2名までとし、幼児や在校生の参列は不可とします。

また本校では卒業式を小学校生活最後の授業（儀式的行事）として行っています。

お子様の晴れの舞台ではありますが、当日の緊張に加えて、慣れない和服や豪華な衣装で体を締め付けられ、式の途中で気分を悪くして保健室で休むということがあります。

当日の服装につきましては、なるべくお子様が心地よく過ごせるように、華美になりすぎないように配慮をお願いいたします。



来年度の入学式は、令和4年（2022年）4月7日（木）午前となっています。

※ 11月の教育相談（臨床心理士の派遣）は、2日（火）と16日（火）の14～16：30です。お子さんのことで気になることがある方は、遠慮なく学校までご連絡ください。

稲刈り～西丘米がとれました！

運動会明け、5年生が稲刈りをしました。6月10日に田植えをしてから4か月ちょっと。田植えの時と同様に5-2の谷先生がお米の先生です。鎌の握り方から稲の刈り方までクラス半分の人数で順番に行いました。ペットボトルで育てた稲もベランダでしっかりと成長してくれました。田植えをしてから120日間、毎日学年や男ボウさんにお世話をしてもらい、今年も西丘米が収穫できました。夏の終わりは雨が多かったのに、昨年に比べて豊作のような気がします。さてここからどれくらいの白米がとれるでしょうか？本当に貴重な体験ができました。



鎌の扱いも難しく
ドキドキ！



あいさつで
あいてより
いつも
さきに やさしいきもちを
つたえよう



にしおかしょうがっこうの子
にこにこ えがおが あふれる 子
しっかり まなび かんがえる 子
おもいやりが あり やさしい 子
からだと ころを きたえる 子

家庭科のお手伝いに来てもらいました。



今年も家庭科や音楽、体育と言った教科は、新型コロナウイルスの影響で順番を入れ替えたり、内容を一部変更したりして教材を進めています。5年生になると家庭科が始まります。一学期に裁縫の基本を勉強し、今「ナップザック」作りの追い込みです。初めにチャコペンシルで印をつけて、しつけをかけてから



らのミシン縫いです。まずはしつけをします。慣れない手つきで待針に刺さって「あっ痛い！」「下の布まで一緒に縫ってしまった」「玉止め」がなかなかできない。それでもあきらめることなく、ゆっくりゆっくりとしつけをかけていきます。その後初めてのミシンに挑戦。みんな真剣で見ているこちらの息がとまりそうです。5年生の家庭科のサポートに12人のお母さんたちに来ていただきました。さすがお母さんたち、困っている子どもの傍にそっと寄り添い優しく教えてくれます。一人の先生だととても手が足りません。こうして少しずつ地域の方や保護者の方に学校に足を運んでいただき、学習のサポートしてもらえるととても助かります。お忙しい中ありがとうございました。出来上がった「自分のナップザック」を持って、5年生は26日～27日林間学舎で『びわ湖青少年の家』に出かけます。日曜日から季節がいきに進んで、着る服に困ってしまいますね。びわ湖はここより2～3℃は低いと思います。温かい服装を準備しましょう。感染対策も万全にして、学校ではできない楽しい活動をたくさんしてきてほしいです。



地区懇談会～今年もえんぱわめんと堺さんにきていただきました。～

『ただかれた！もうイヤ！・・・ちょっと待って、ぶつかっただけかも？
その気持ち、きめつけていいのかな？～子どものトラブル、親としてできること～』



2010年から大人向けに講演に来ていただいています。子ども達も毎年“目、耳、ハートは聞く合図”を合言葉にワークショップをしてもらっています。子どもも大人もこの新型コロナウイルスによって、マスク生活が長くなり、表情が読み取れない、大きな声で話せない…いろいろなことが原因で、自分の気持ちをしっかりと相手に伝えることができにくい時代です。それも関係してか、ちょっとしたもめ事はどのクラスでもしょっちゅうあります。学校ではそんな時お互いの話をじっくり聞くようにしていますが、おうちではどうでしょうか。「違いは間違いではありません。意見、考え、価値観は人それぞれ、一人ひとりが大切なんやで。」この言葉が印象的でした。自分の気持ちをいろいろな言葉で表すこと、相手の話をしっかりと聞いて相手の気持ちを尊重すること。大人の関わり方として、気持ちをしっかりと聴いて、どうしたらいい？どんなことができるかな？いくつかの選択肢を子どもに提案し、子どもが自分で決めるようにすればよいのでは？と提案いただきました。私たち大人同士もまた、子どもの言葉もしっかりと聴いて、話をすることはとても大切です。

全国学力・学習状況調査の結果概要②

全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査の結果概要から、今年度の児童の様子をお知らせいた

【まとめ】

- 今後も学校生活、学習活動、学校行事等全体の取り組みを通して、児童の自尊感情を豊かに育み、お互いの違いを認め合い、高め合う人間関係づくりや学級集団作りの取り組みを引き続き大切にしていきたい。